

朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」

# エコミュージアムルームだより 第45号

未来に伝える山形の宝登録制度推進事業「最上川・五百川郷の宝物がたり」

## 朝日町の神社・御堂を巡る

# 「神・仏まわり ~其の参 北部編~」を開催します！

町内の各集落には、神社・御堂等が数多く存在しており、建物としても古く歴史のあるものや、信仰の対象として地区の祭事が行なわれている所もあります。

神社・御堂調査事業の最終年度となる今年は、北部地区を対象に調査を進めており、下記日程で見学会を開催いたします。この機会にぜひ訪れてみませんか？みなさまのご参加をお待ちしております。



浮島稲荷神社（大沼）

日時 **10月28日（日）9:00～12:30**

集合場所 朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」エコルーム前（8:50 集合）

参加費 1,000円（資料・保険代）

募集人数 20人（※定員になり次第締め切らせていただきます。）

申込締切 10月24日（水）まで。

※見学場所は現在選定中です。  
約10箇所の神社・御堂を巡る  
予定です。

## 明治維新 150年 「朝日町の勤王の志士白田外記」 シンポジウム & 見学会を開催します。

明治維新から150年がたち、「西郷どん」をはじめ、幕末の英雄物語や明治維新の話がいろいろと取り上げられています。そのとき、都から遠く離れた朝日町ではどんな動きがあったのでしょうか。

志を遂げることなく亡くなった「白田外記秀則」という一人の人物の行動を取り上げるにより、朝日町でもこの時代の「尊皇攘夷」の考えに共鳴し、行動をとともにした人たちがいたことを思い返してみます。

その中で、明治維新や戊辰戦争を、自分たちの町の歴史として考える機会のヒントにしたいと思います。

シンポジウム

「朝日町の戊辰戦争と白田外記秀則」 10時～12時

現地見学会

白田内記・外記の町 大谷地区散策 12時45分～14時30分

シンポジウムのみの参加も大歓迎です！

日時 平成30年11月11日（日）午前10時～午後14時30分

場所 大谷峯壇公民館（〒990-1304 山形県西村山郡朝日町大谷1631）

参加費 1,000円（資料代） ※昼食希望の方 別途500円

定員 30人

道の駅あさひまち「りんごの森」2階ギャラリーにて、阿部幸作氏写真展（十月九日（火）十六時まで）を開催しています！朝日連峰の四季や植物をテーマにした展示をしておりますので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

# 北部地区の神社・御堂

## ■八幡神社（大暮山）



大暮山集落の北西部、分校跡地の北側の丘の上に建つ。赤い鳥居をくぐって登る参道は、近くの山から切り出した石を敷き詰めたものである。

四間に二間の拝殿と後ろに幣殿と本殿を配する造りで、創建は不明であるが、現在の建物は屋根改修の際に発見された棟札によると文政年間（一八一八〜二九）とされる。

また、本殿内に大谷村の白田内記が正徳三年（一七一三）に奉納した板絵があり、大谷大堰の水源



地としての大暮山に対する畏敬の念とも考えられる。立派な造りの内陣の中にはご神体とされる臥獣に乗った応神天皇の立像と前立として武人像が置かれてあり、内陣の左右には衣冠束帯の二体の脇神が祀られている。

明治十年（一八七七）村社に格付けされていたが、現在は十三級社になっており、例祭は四月二十九日に行われている。



## ■稲荷神社（川通）



川通集落の北、主要地方道長井・大江線の西側明神山の斜面に建つ。

神社の由来について記録がなく不明であるが、かつては最上川のそばにあったが、洪水で流されるのを防ぐために明神



山の山頂近くに移築したが、参拝に行くのがたいへんだということ、昭和三十年（一九五五）に現在地に移したということである。

神社の中、内陣の上に「利運堂」

の看板があり、右脇に明治三十七年（一九〇四）奉納の「稲荷神社」の看板が掲げてある。さらに、奉納物の木札の中に、奉納利運大明神旗一流・嘉永四年（二八五一）、村社稲荷社日丸幡二流・明治八年（一八七五）というものがあり、川通往來にも利運大明神のことが出ており、江戸時代は最上川舟運の安全を祈ったもので、明治になってから稲荷神社として祀られるようになったものと思われる。現在も川通地区の鎮守として、春の祭りは四月十九日、秋の収穫感謝祭は十二月十九日に行われている。